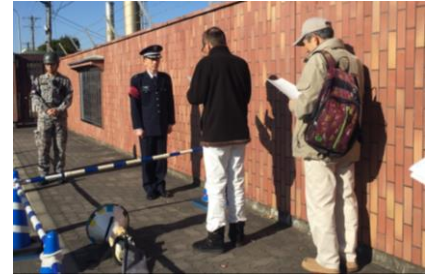


不戦ネットの活動報告



■小牧基地申し入れ行動

毎月第4土曜 午前10時から、東海民衆センター、〈ノーモア南京〉名古屋の会の3者で申し入れ行動を行っています。各団体、それぞれ旬の話題を入れた申し入れを渡しています。6月の不戦ネットの申し入れ書です。

政府の朝鮮への圧力路線を変更することを求める申入書

小牧基地司令 船倉慶太様
自衛隊員の皆様

私たちは主に愛知県内で活動をしている市民団体です。いくつかの申し入れをします。

最初に、大阪北部地震災害にあたって、中部方面隊の隊員のみなさんが給水支援、入浴支援の任にあたっておられることに、この場をお借りして感謝いたします。ごくろうさまです。

毎年8月に実施されている米韓の軍事演習「乙支（ウルチ）フリーダムガーディアン」という軍事演習を中止することが決まりました。これは6月12日のトランプ大統領と金正恩朝鮮労働党委員長との首脳会談をふまえての決定ということです。

私たちはこれまで、この小牧基地の正門において、「米韓の軍事演習」、それと連動した「米日の軍事演習」が非常に危険で、戦争に直結しかねないものであることを強く訴えてきました。そして、中止してくださいとお願いしてきました。今、軍事演習中止が実現し、私たちは率直に喜んでます。戦争への危険性のもとで高い緊張を強いられてきた自衛隊員のみなさまにとっても、良い方向にむかっていると思われれます。私たちは米朝会談を契機にして、「対話」が朝鮮戦争の終結、平和協定締結へと進むことを心から望んでいます。しかし、小野寺防衛相は「軍事演習は地域の平和と安定のための重要な柱」と発言しました。東アジアに和平の兆しが生まれているにもかかわらず、日本のみ「最大限の圧力」、軍事的な脅して「平和と安定」を目指そうということでしょうか？ それで本当に「平和と安定」が生まれ出せるのでしょうか？

自衛隊はこれまでの安倍政権の暴走に近い「軍事優先」の政治のなかで、組織そのものが変質してきているように思われれます。それは文書管理の問題や、4月16日の幹部自衛官による参議院議員への暴言にあらわれています。東アジアに和平の気運が生まれている今、自衛隊のみなさんには、再度立ち止まって、自衛隊内の組織状況を考えなおしていただきたいと思っています。

基地司令にお願いします。

- 1、日本政府が朝鮮への「最大限の圧力」政策を変更し、「対話」政策へと移行できるよう基地司令から上申してください。
- 2、4月16日の自衛官による参議院議員への暴言の事件がなぜ生まれ出されたかを反省し、小牧基地内でも、市民と真摯に向き合う姿勢を再確認するよう隊員に徹底すること。

2018年6月23日

不戦へのネットワーク 代表 飯島滋明



■土曜街宣

毎月、第1土曜日 午前11時から栄スカイル前で、戦争をさせない1000人委員会あいちと東海民衆センターの3者で街宣を行っています。今は、安倍改憲NO!の3000万人署名が中心です。その他の土曜日にも他団体が担当し、毎週行動になっています。

■辺野古の新基地建設反対の街頭行動

不戦ネットも参加するあいち沖縄会議で、毎月第3日曜日の午後4時から栄スカイル前、その翌週の水曜、名古屋駅前午後6時から街宣をしています。辺野古の工事も正念場、ぜひ参加をしてください。